

室内・戸外共に身近であり生活の中で必要な「光」。自然光と人工的に設定した様々な光の違いや、
【テーマを設定する】
角度や色彩の違いによる影の面白さや興味心を深める。

活動① 11月 クリスタル積み木での光の観察
透明な玩具で遊ぶ中で、色の違いや重なった色の変化に気が付き興味を持って観察する。

【環境をデザインする】

クリスタル積み木 電灯 机

【探求活動を実践する】

(活動内容)

- ・初めての玩具の紹介を丁寧に行いながら、どの子も興味を持って遊べるように、分かりやすく伝えていく
- ・自然の光・懐中電灯の光、様々な光を自由な角度で観察する
- ・子ども達を感じたこと、思ったことや発見を友だちと共有したり会話を楽しむ様子も保育者が言葉を汲み取りながら一緒に会話しながら、友だちとの関わりや言葉での表現も深めていく

(子どもたちの様子)

- ・ひとりひとりが、どこに積んでみようか、積んでる途中で崩れたときには直したり、こんなところに乗せてみようかな?など、お友だちの様子も、みんなで見守りながら楽しんで作ることができた。
- ・色を重ねたらどうなるかを伝えてみると…「〇〇色だ!」「え!どれどれ…」と、友だちと意見を交換しながら、すぐに自分で積み木を透かしてみたり、置き場所を変え光や影の変化を観察する姿があった。



【振り返りをふまえた気づき】

- ・初めての玩具だったので、どの子も興味を持ち、同じ時間をみんなで共有しながら楽しむことができた。色の混ざり合いは、赤の色味が強いことが分かったので事前に実験しておいた方が、子ども達がより分かりやすく発見をできたと感じた。
- ・透明な玩具なのでのぞくと物が見える事を発見。丸・四角・三角などの形や赤・黄・青の色を、子ども達も言葉で表したり、友だちと会話しながら興味を持つ姿がみられた。

【テーマを設定する】 室内・戸外共に身近であり、生活の中で必要な「光」。自然光と人工的に設定した様々な光の違いや、角度や色彩の違いによる影の面白さや興味心を深める。

【環境をデザインする】

万華鏡 戸外の日差し

活動② 12月

万華鏡を覗いてみて色の違いや重なった色の変化に気が付き興味を持って観る

【探求活動を実践する】

(活動内容)

- ・一人一つ万華鏡をもち、覗いてみる
- ・万華鏡を回転させたときの変化を知る
- ・日の光が差している場所で覗いた時と、手でかざして光がない時の違いを知る (子どもたちの様子)
- ・万華鏡自体みんな初めて目にするようで、始まる前から興味を持つ姿見られた。

・覗いてみると最初はよく分からないというような様子もあったが、色を聞いていくと、色や形を言葉にしたり、回すと形が変化することに気付き繰り返し楽しむ姿があった。何に見えるか形を聞いてみると、○△□等の分かりやすい形ではないため、言葉にするのが難しい様子だった。

・日が当たる場所で見た時と、当たらない時でどう変化するかやってみると、「明るい!」「見えなくなった!」と違いがわかる子もいれば、明るさの違いよりも覗くことが楽しかったり、振ってみてシャカシャカと鳴る音を楽しんだりとそれぞれの反応があった。また、二本持ってみて両目で覗いてみたり、万華鏡の外側の色によって見え方が違うか、子どもたち自身で試す姿も見られた。



【振り返りをふまえた気づき】

テラスで行う予定だったが、日が当たらなかったため急遽ガーデンのデッキまで行ったので特別感があり、日も照っている場所に変更して良かった。実際に触ってみると最初は仕組みがわからず、逆さまに覗いてみたり、景色が見えると思って「全然見えない」と残念がる子もいたため一緒に動かしながら説明することが大切だなと感じた。また、何に見えるか聞くと、○△□等形がはっきりしているものではない分表現が難しく、まだ形の認識がない子もいたため、普段から遊びの中で形の認識ができるような遊びを取り入れていきたい。月齢によって予想していた使い方ではない遊び方で楽しんでいたり、それぞれ違った反応があったので面白かった。

【テーマを設定する】 室内・戸外共に身近であり、生活の中で必要な「光」。自然光と人工的に設定した様々な光の違いや、角度や色彩の違いによる影の面白さや興味心を深めるため。

活動③ 2月

色の混ざり合いに気が付いたり、壁に映る色や形を観察してみる

【探求活動を実践する】

(活動内容)

- 好きな色、形を一つ選んで一人ずつ壁に映してみる。
- 二色重ねて映してみる。
- みんなで作った作品を映してみる。

(子どもたちの様子)

- 好きな色と形を選び、一人ずつ順番に光にかざして、壁に映る様子を観察していた。
- 「オレンジになった!」「みどりだ!」など、順番を待ちながら壁に映る色や形、大きさなどに気付いて発言する様子があった。
- 友だちとの関わりも楽しみながらみんなで一つのものを作り、保育者が手でオオカミの影を映してみると、「ちょうちょが止まってるよ~!」と子どもたちもそれぞれ影絵を楽しみ、空想の世界を楽しむ姿も見られた。



【振り返りをふまえた気づき】

- 子どもたちとプロジェクターに触れるのは初めてだったが、部屋を暗くした特別感もあり、約束事や順番を守り友だちや保育者の様子を興味深く見ていた。
- プロジェクターに積み木を近づけたり遠ざけたりすることで、スクリーン内の影絵の大きさが変わることを不思議そうに見ていた。
- 最後にみんなで作ったお家に保育者が手でオオカミを作って影絵を楽しむと、子どもたちも手を使ってちょうちょを作ってみたりと影でも楽しむことができた。また影を使った遊びも楽しんでみたい。

【環境をデザインする】

プロジェクター アクリル積み木 椅子 机